

北本市立地適正化計画
パブリック・コメント手続意見結果概要

1. 提出件数

期間

○令和7年11月27日（木）～12月26日

周知

- 11月広報
- 市ホームページ
- ライン配信

件数等

- 提出件数 8件
- 提出者数 4名
- 提出方法 持参1件、回答フォーム2件、FAX1件

意見による計画修正件数

- 2件

2. 変更箇所について

No.3 P 1 1 3 7-1 評価指標の設定 (4) 効果指標の設定

【旧】

立地適正化計画

(4) 効果指標の設定

効果指標	現状値 (令和6年)	目標値 (令和27年)
北本市を住み良いと感じている市民の割合	73.5%	<u>現状値以上</u>

評価指標設定の根拠

誘導施設や人口密度を維持し、デマンドバスの利便性向上や居住誘導区域内への適切な誘導を行うことで、定住意向を示す市民の割合が増加することを期待し、市民アンケートの「北本市を住み良いと感じている市民の割合」を指標とし、現状値以上を目指します。

第六次北本市総合振興計画

上位計画である総合振興計画との整合をどのように図っているのか。目標値の整合が取れていない(意見)

指標一覧

● 総合指標

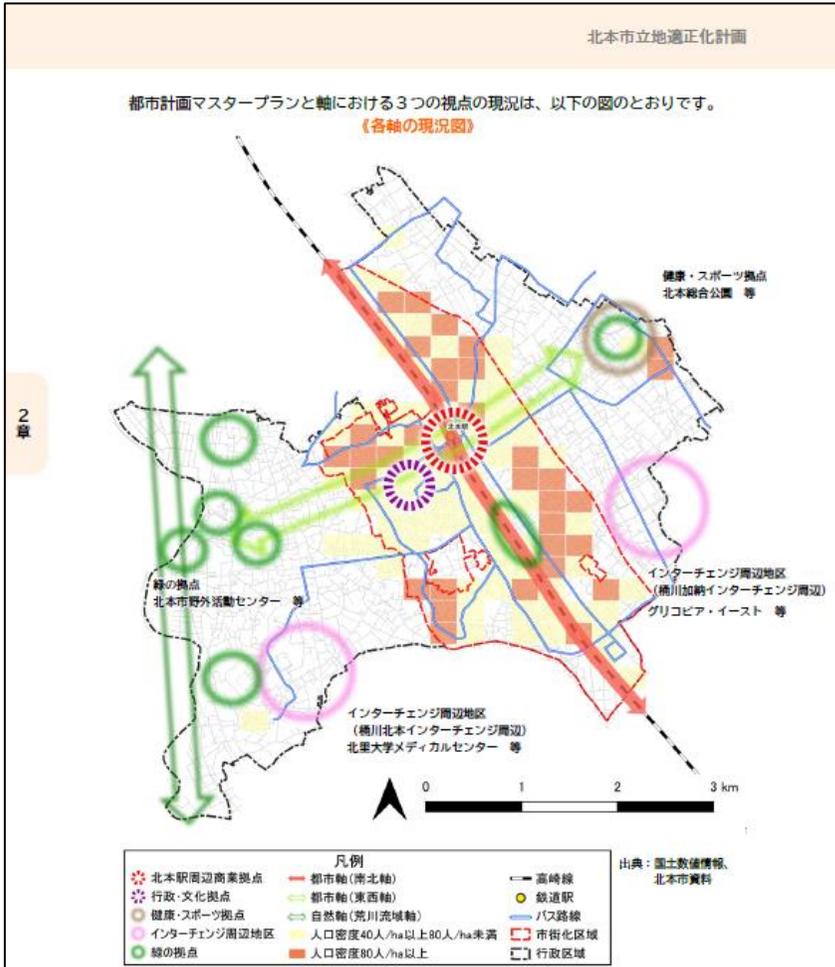
総合指標は、基本計画全体に係る指標として設定するものです。

総合指標	単位	基準値	R8	R9	R10	R11	<u>R12</u>	目標値
北本市が住みやすいと思う市民の割合	%	73.5	←	←	←	←	←	<u>80.0</u>
北本市に住み続けたいと思う市民の割合	%	70.5	←	←	←	←	←	80.0

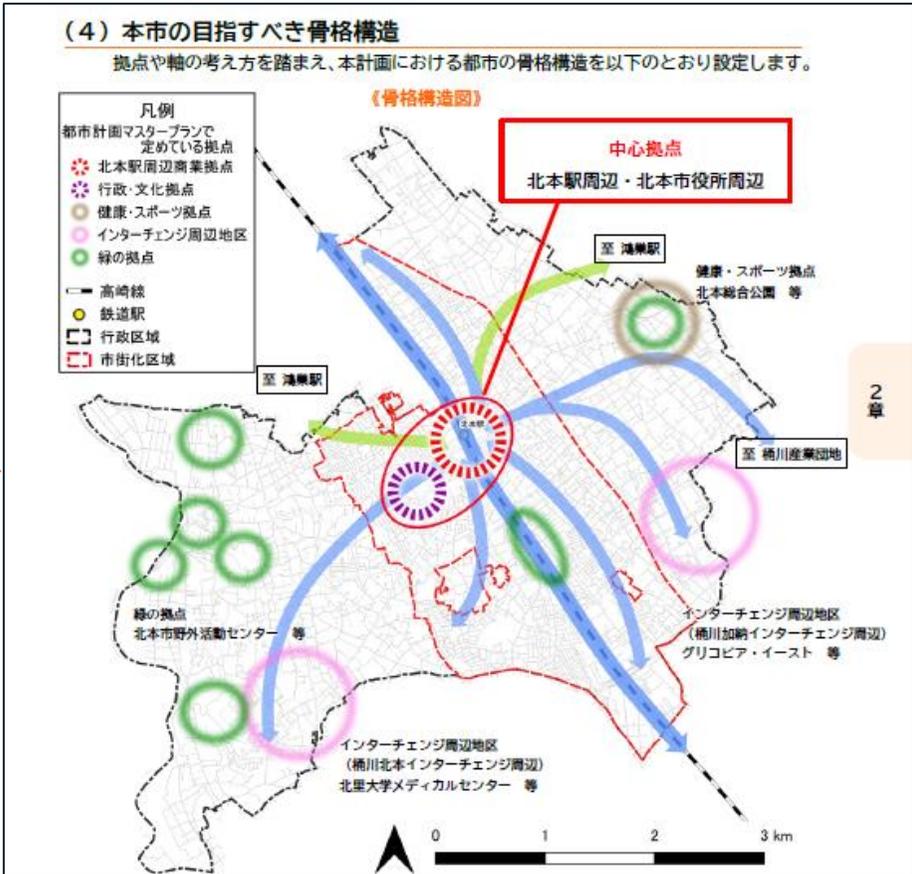
2. 変更箇所について



総合振興計画の土地利用構想図を基に都市計画マスタープランの将来都市構造図を作成



都市計画マスタープランの「将来都市構造」をベースに、行政施設や福祉施設、商業施設等の都市機能の状況や将来の人口密度等の分析結果を考慮し、計画の核となる本市の目指すべき骨格構造を検討した



都市機能誘導区域・居住誘導区域は骨格構造図を基に検討

2. 変更箇所について

【旧】

(4) 効果指標の設定

効果指標	現状値（令和6年）	目標値（令和27年）
北本市を住み良いと感じている市民の割合	73.5%	<u>現状値以上</u>

評価指標設定の根拠

誘導施設や人口密度を維持し、デマンドバスの利便性向上や居住誘導区域内への適切な誘導を行うことで、定住意向を示す市民の割合が増加することを期待し、市民アンケートの「北本市を住み良いと感じている市民の割合」を指標とし、現状値以上を目指します。



目標値を変更

【新】

(4) 効果指標の設定

効果指標	現状値（令和6年）	目標値（令和27年）
北本市が住みやすいと思う市民の割合	73.5%	<u>80.0%以上</u>

評価指標設定の根拠

誘導施設や人口密度を維持し、デマンドバスの利便性向上や居住誘導区域内への適切な誘導を行うことで、定住意向を示す市民の割合が増加することを期待し、市民アンケートの「北本市が住みやすいと思う市民の割合」を指標とし、80.0%以上を目指します。

2. 変更箇所について

No.4 P 43 1-4 立地適正化に関わる現況まとめと課題整理

【旧】

都市機能課題（立適）

現況

・市街化区域内の「その他の空地」の割合は約 5.2%となっています。また、北本駅、北本市役所周辺に駐車場等の積極的な土地利用がなされていない場所があります。

課題

・利便性の高い場所に駐車場等の空き地が立地していることから、空き地を有効に活用していく必要があります。

駅前広場・駐車場の方針（都市マス）

(4) 駅前広場・駐車場の方針

北本駅は、東西の駅前広場が整備済みですが、更なる駅東西の連携強化により、交通結節点として、誰にとっても使いやすく、より利便性の高い駅前広場の創出を目指します。

更に、駐車需要、駐輪需要に対応した駐車場整備、駐輪場整備の誘導を図ります。



北本駅西口の駅前広場ロータリー

公共交通誘導施策（立適）

(3) 公共交通に関する施策

施策

施策① 各種公共交通ネットワークの維持・充実による移動の快適性の向上

居住地と拠点や主要な施設を結ぶ公共交通ネットワークの維持・充実を図るとともに、公共交通が不足している地域については、デマンドバスで補完することで誰もが快適に移動できる公共交通ネットワークを形成します。

また、本市のまちづくりの方針に掲げた利便性の高い都市形成と交通ネットワークの連携を目指し、地域交通のマスタープランである地域公共交通計画の策定を検討します。

主な取組

- 地域公共交通計画の策定
- 民間の交通事業者への支援
- 関係自治体との連携による鉄道事業者に対する輸送力増強や利便性向上等に関する要望の実施
- デマンドバスの利便性の向上
- デジタル技術を活用した交通手段の充実
- 運転免許自主返納者への支援
- 都市計画道路の整備

施策② 駅やバス停周辺における交通空間の整備

駅周辺の待合環境の整備や駐車場の整備等を行い、公共交通を利用しやすい空間を形成します。

また、施設整備にあたっては、国の支援策を活用するとともに、快適に利用できる空間づくりを目指します。

主な取組

- 都市再生整備計画関連事業の活用（再掲）
- 市の顔となる駅前広場の利便性や快適性の向上（再掲）
- 駅周辺の都市基盤整備の推進（再掲）
- 駅周辺の駐車場の安定的な運営



駐車場の記載に関し一貫性がない
(意見)

2. 変更箇所について

- 【新】 駐車場は交通結節点や公共交通施策上一定程度は必要
○P43は近隣市（桶川）と比べ空地の割合が高いことから課題として、
駐車場等の積極的な土地利用がなされていない場所があると記載
○都市マスの駐車場の方針についても、駐車需要、駐輪需要に対応し行う
こととして記載
➡現在、立地適正化計画については、「需要に応じ」の記載がない



「需要に応じ」を追記

公共交通誘導施策（立適）

施策② 駅やバス停周辺における交通空間の整備

駅周辺の待合環境の整備や需要に応じた駐車場の整備等を行い、公共交通を利用しやすい空間を形成します。

また、施設整備にあたっては、国の支援策を活用するとともに、快適に利用できる空間づくりを目指します。